

第三部 前期基本計画\_R5.1.31 時点

# 基本計画の見方

## 施策の項目

施策体系で示した項目ごとに、方針、目標指標、現状と課題、関連するSDGsのゴール、施策の展開方向、想定される取組、総合戦略との関係性、関連計画、町民・地域団体・民間事業者に期待する役割を見開きで示しています。

前期基本計画

1-1

## 人を増やす 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進

### 方針

- 多様なニーズに対応した子育て支援の充実を図るとともに、妊娠前から出産、子育てまでの切れ目のない子育て支援体制や子育て世帯が抱える悩み等への相談体制の充実を図り、安心して子育てができる環境を目指します。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)
0~4歳の人口	(R4) 500人	→ 472人
待機児童数	(R4) 13人	→ 0
子育て支援センター利用者数(年度延人数)	(R3) 10,717人	→ 12,000人

### 方針

将来像を実現するために、施策で目指す基本的な考え方を示しています。

### 目標指標

施策の達成状況を測るための指標を設定しています。

### 現状と課題

- 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認定こども園における保育等の保育サービスを提供しています。
- 高校生3年生までのこども等医療費無償化、保健師による乳児家庭全戸訪問や子育てフォローアップの取組など、手厚い子育て支援を行っています。
- 町内待機児童数については、0歳児や1歳児において継続的に発生している傾向にあるほか、年度途中の入園が困難な状況が続いており、解消が求められています。
- 保健福祉センター「プリズムめぐり」と「子育て支援センター」の連携による「子育て世代包括支援センター」を開設など切れ目のない支援体制の整備がなされていますが、子育て世帯の多様なニーズに対応した総合的な支援の展開が求められています。
- 複雑化する児童虐待の相談窓口には保健師等の専門職配置を行っていますが、虐待の発生や深刻化の予防のため、関係機関の更なる連携強化や研修等への積極的な参加により職員の専門性及び資質の向上を図る必要があります。
- 家族の世話や介護が生活の中心となり、年齢や成長度合いに見合わない重い責任や負担を負っている「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもの問題が顕在化しています。国や県と連携し、困難を抱える子どもが相談しやすい体制の構築などの支援が求められます。
- ひとり親家庭について、必要性に応じて総合的な自立を促す支援策

### 現状と課題

現状と今後取り組んでいかなければならない課題を示しています。

写真挿入

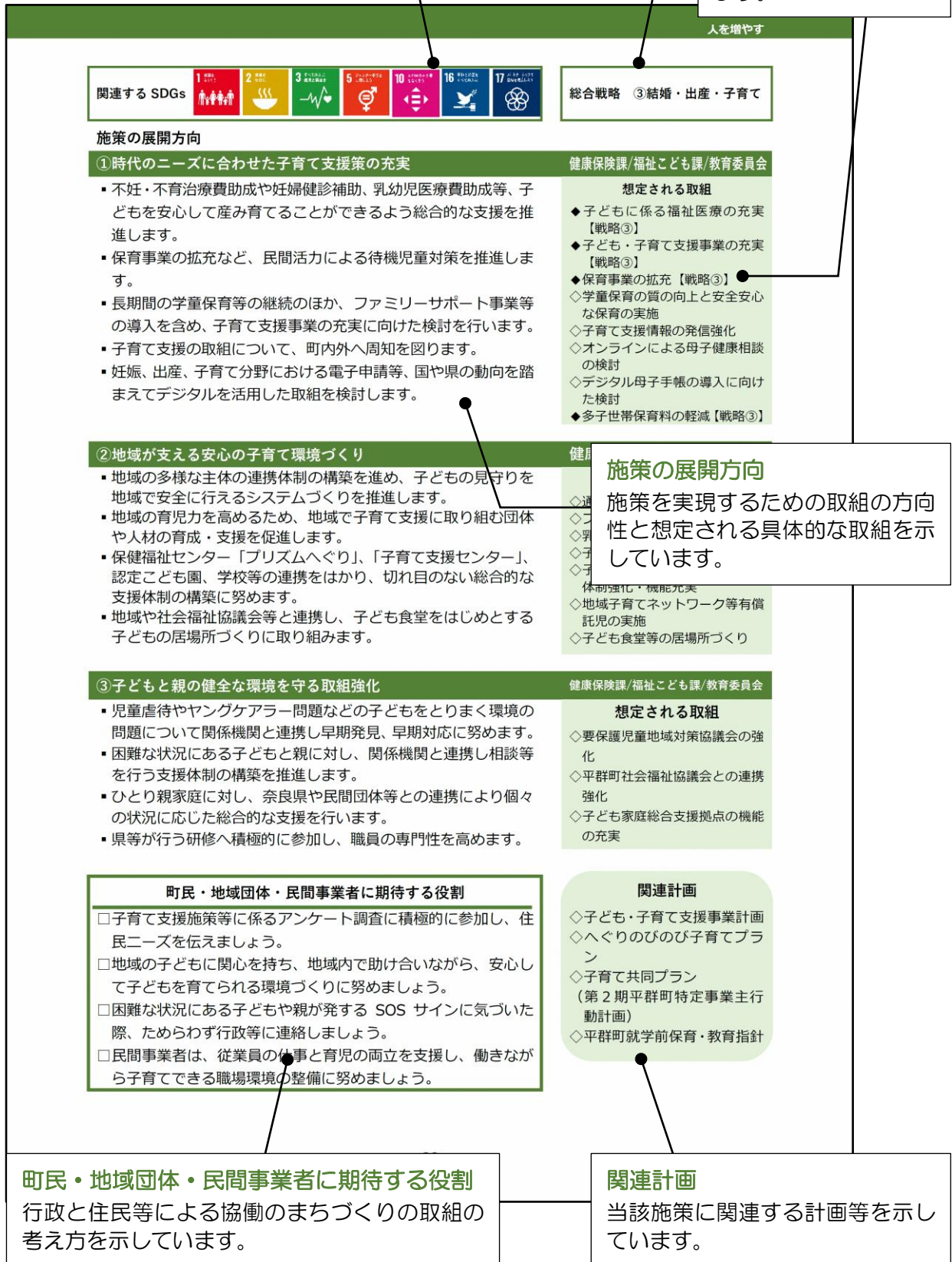
写真挿入

## 関連するSDGs

施策と関連するSDGsのゴールを示しています。

## 総合戦略との関係性

関連する総合戦略の基本目標と戦略に記載している施策を示しています。



## 人を増やす 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進

### 方針

- 多様なニーズに対応した子育て支援の充実を図るとともに、妊娠前から出産、子育てまでの切れ目のない子育て支援体制や子育て世帯が抱える悩み等への相談体制の充実を図り、安心して子育てができる環境を目指します。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
0～4歳の人口	(R4) 500人	→ 472人	グラフ挿入
待機児童数	(R4) 13人	→ 0人	
子育て支援センター利用者数 (年度延人数)	(R3) 10,717人	→ 12,000人	

### 現状と課題

- 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認定こども園における一時預かり事業、延長保育、学童保育等の保育サービスを提供しています。
- 高校生3年生までのこども等医療費無償化、保健師による乳児家庭全戸訪問や子育てフォローアップの取組など、手厚い子育て支援を行っています。
- 町内待機児童数については、0歳児や1歳児において継続的に発生している傾向にあるほか、年度途中の入園が困難な状況が続いており、解消が求められています。
- 保健福祉センター「プリズムめぐり」と「子育て支援センター」の連携による「子育て世代包括支援センター」を開設など切れ目のない支援体制の整備がなされていますが、子育て世帯の多様なニーズに対応した総合的な支援の展開が求められています。
- 複雑化する児童虐待の相談窓口保健師等の専門職配置を行っていますが、虐待の発生や深刻化の予防のため、関係機関の更なる連携強化や研修等への積極的な参加により職員の専門性及び資質の向上を図る必要があります。
- 家族の世話や介護が生活の中心となり、年齢や成長度合いに見合わない重い責任や負担を負っている「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもの問題が顕在化しています。国や県と連携し、困難を抱える子どもが相談しやすい体制の構築などの支援が求められます。
- ひとり親家庭について、必要性に応じて総合的な自立を促す支援策が求められています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明



関連する SDGs



総合戦略 ③結婚・出産・子育て

施策の展開方向

①時代のニーズに合わせた子育て支援策の充実

- 不妊・不育治療費助成や妊婦健診補助、乳幼児医療費助成等、子どもを安心して産み育てることができるよう総合的な支援を推進します。
- 保育事業の拡充など、民間活力による待機児童対策を推進します。
- 長期間の学童保育等の継続のほか、ファミリーサポート事業等の導入を含め、子育て支援事業の充実に向けた検討を行います。
- 子育て支援の取組について、町内外へ周知を図ります。
- 妊娠、出産、子育て分野における電子申請等、国や県の動向を踏まえてデジタルを活用した取組を検討します。

健康保険課/福祉こども課/教育委員会

想定される取組

- ◆ 子どもに係る福祉医療の充実【戦略③】
- ◆ 子ども・子育て支援事業の充実【戦略③】
- ◆ 保育事業の拡充【戦略③】
- ◇ 学童保育の質の向上と安全安心な保育の実施
- ◇ 子育て支援情報の発信強化
- ◇ オンラインによる母子健康相談の検討
- ◇ デジタル母子手帳の導入に向けた検討
- ◆ 多子世帯保育料の軽減【戦略③】

②地域が支える安心の子育て環境づくり

- 地域の多様な主体の連携体制の構築を進め、子どもの見守りを地域で安全に行えるシステムづくりを推進します。
- 地域の育児力を高めるため、地域で子育て支援に取り組む団体や人材の育成・支援を促進します。
- 保健福祉センター「プリズムへぐり」、「子育て支援センター」、認定こども園、学校等の連携をはかり、切れ目のない総合的な支援体制の構築に努めます。
- 地域や社会福祉協議会等と連携し、子ども食堂をはじめとする子どもの居場所づくりに取り組みます。

健康保険課/福祉こども課

想定される取組

- ◇ 通学路の安全確保
- ◇ ファミリークラスの開催
- ◇ 乳幼児相談の実施
- ◇ 子育てサークルの育成運営支援
- ◇ 子育て世代包括支援センターの体制強化・機能充実
- ◇ 地域子育てネットワーク等有償託児の実施
- ◇ 子ども食堂等の居場所づくり

③子どもと親の健全な環境を守る取組強化

- 児童虐待やヤングケアラー問題などの子どもをとりまく環境の問題について関係機関と連携し早期発見、早期対応に努めます。
- 困難な状況にある子どもと親に対し、関係機関と連携し相談等を行う支援体制の構築を推進します。
- ひとり親家庭に対し、奈良県や民間団体等との連携により個々の状況に応じた総合的な支援を行います。
- 県等が行う研修へ積極的に参加し、職員の専門性を高めます。

健康保険課/福祉こども課/教育委員会

想定される取組

- ◇ 要保護児童地域対策協議会の強化
- ◇ 平群町社会福祉協議会との連携強化
- ◇ 子ども家庭総合支援拠点の機能の充実

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 子育て支援施策等に係るアンケート調査に積極的に参加し、住民ニーズを伝えましょう。
- 地域の子どもの関心を持ち、地域内で助け合いながら、安心して子どもを育てられる環境づくりに努めましょう。
- 困難な状況にある子どもや親が発する SOS サインに気づいた際、ためらわず行政等に連絡しましょう。
- 民間事業者は、従業員の仕事と育児の両立を支援し、働きながら子育てできる職場環境の整備に努めましょう。

関連計画

- ◇ 子ども・子育て支援事業計画
- ◇ へぐりのびのび子育てプラン
- ◇ 子育て共同プラン  
(第2期平群町特定事業主行動計画)
- ◇ 平群町就学前保育・教育指針

# 人を増やす 未来を創り、未来を担う子どもたちを育成する学びの推進

## 方針

- 未来社会を作り上げていく主役である子どもたちに対し、時代の変化を意識した教育を行うとともに、学校、家庭、地域、行政の連携により質の高い教育体制の構築を目指します。

## 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
学校に行くのは楽しい児童生徒の割合	(R4) 84.4%	→ 100%	グラフ挿入
先生は自分のよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	(R4) 80.3%	→ 100%	

## 現状と課題

- 町内には、認定こども園2園、小学校3校、中学校1校とバランスの取れた教育施設が配置されており、保幼小中の連携による繋がりのある教育と発達段階に応じた教育の実現に向けて取り組んでいます。一方、本町でも少子化の進行が進んでおり、児童・生徒数が減少している状況です。
- 地元食材を通じた学校給食等による食育の取組などを実施しており、子どもたちの健康教育等について一層の充実が求められています。
- 多様性や持続可能性が重視される社会において、物事を広い視点でとらえ、課題解決に向けて力を発揮する「グローバル人材」の育成が求められます。
- 急速に進む情報化の中で、国が推進する「GIGAスクール構想」をはじめとする、デジタル機器を活用した効果的な学習システムの活用が求められています。本町においても、小・中学校全ての子どもたちにタブレット端末を整備するなど、新たな時代を生きるために必要となる力の育成に向けて取り組んでいます。
- 平群中学校をはじめとする学校施設の老朽化が進行しており、その対応が求められています。
- 新しい時代の教育へ対応するためには、研修等による教員の資質向上が重要です。また、教員の長時間勤務が深刻化しており、働き方の改革が求められています。
- ふるさとに対する誇りや愛着の醸成に繋がる教育が求められます。
- 全ての児童・生徒が一人ひとりに応じた教育を受けることができるよう、特別支援教育や通級指導教室などの充実が求められています。
- いじめや不登校が社会的に問題化する中、困難を抱える子どもやその家族への支援が求められています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

関連する SDGs



総合戦略 ③結婚・出産・子育て

④魅力的な地域

施策の展開方向

①「笑顔で子育て、笑顔でつながる」環境づくりの推進（就学前教育・保育） 教育委員会/福祉こども

- 少子化やニーズの多様化に対応するため、幼児教育の充実を図るとともに、地域やこども園・小学校等との連携促進により、子どもの学びの連続性の確保に努めます。
- 子育て支援センター等と連携を行い、主に子育てや就学前教育に対する相談体制を充実することで、教育と福祉が一体となった支援に努めます。
- 認定こども園のシステム ICT 化などにより、保育サービスの充実と現場の負担軽減を図ります。
- 就学前保育教育の充実と質の向上を推進します。

想定される取組

- ◇子育て関係施設との連携強化
- ◇こども園小中学校と連携した取組の推進
- ◇国際感覚に触れる保育教育の推進
- ◇こどもの居場所の提供
- ◆こども園における事務の ICT 化の推進【戦略③】
- ◇保育教諭の研修参加への支援

②子どもたちの学び・こころ・からだづくりの推進（学校教育）

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を重視し、主体的・対話的で深い学びのある教育を推進します。
- 自尊感情、自己肯定感を高める教育の推進やいじめ・不登校への対策など、スクールカウンセラー等との連携のもと豊かな心をはぐくむ教育を推進します。
- 運動習慣の定着の推進、食育の推進など体力の向上に向けた教育を推進します。
- 外国語教育の充実等国際感覚を身に着ける教育を推進します。
- 「G I G A スクール構想」をもととした ICT 教育の推進を行い、時代に対応した教育の確立を目指します。
- 多様性や持続可能性など、今後の社会において重視される事柄について学校教育と関連した取組を推進します。
- 住民や地元企業と連携した学習機会の創出等により、ふるさとへの誇りと愛着を育みます。
- SDGs（持続可能な開発目標）の理念・目標・実現に向けた教育を推進します。
- 配慮が必要な児童や生徒への支援の充実を図ります。

教育委員会

想定される取組

- ◆ICT を活用した教育の更なる推進【戦略③】
- ◆不登校生徒児童支援の充実【戦略③】
- ◇人権教育の推進
- ◇ALT による外国語教育の実践
- ◆GIGA スクール・教育 DX の推進【戦略③】
- ◇子ども読書活動の推進
- ◆地元企業等と連携した体験学習【戦略③】
- ◇特別支援学級や通級指導教室の充実

③豊かな学びを支える環境づくりの推進

- 学校施設は、平群町公共施設等総合管理計画及び平群町学校施設等長寿命化計画をもとにライフサイクルコストを重視した整備を推進します。
- 時代に沿った教育ニーズへ対応するため、教職員の資質向上に努めます。
- 教職員に対し、働き方改革の推進を行うことで労働環境の改善に努めます。
- こども園から中学校まで地元食材を積極的に取り入れ、新鮮で安心な給食を提供に努めます。
- 交通安全や防犯・防災等安全安心な教育環境の整備の促進に努めます。
- 保護者や地域と連携して地域教育力の向上を図ります。

教育委員会

想定される取組

- ◇学校施設の長寿命化
- ◇教員の研修参加への支援
- ◆学校・地域パートナーシップ事業の推進【戦略④】

### 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 家族で協力しあい、よりよい家庭教育を進めましょう。
- アンケート調査やPTA活動を通じて、学校運営に積極的に協力しましょう。
- 困難を抱える子どもや親の発するSOSサインに気づいたら、ためらわず学校等に相談しましょう。
- スクールボランティア活動や子どもの安全や非行に対する見守り活動等に積極的に参加しましょう。
- 地域団体や民間事業者は、体験学習やキャリア教育の場を提供するなど積極的に協力しましょう。

### 関連計画

- ◇平群町教育大綱
- ◇平群町学校施設等長寿命化計画
- ◇平群町公共施設等総合管理計画





人を増やす

地域を豊かにするための企業誘致と産業振興の推進

方針

- 企業商業施設等の誘導や誘致により、日常生活における更なる利便性の向上や地域経済の発展、地域内雇用の創出を目指します。
- 商工会と連携し、多様な創業ニーズ・就労ニーズにこたえる環境を整備します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
商業施設の誘致件数 (累計)	(R3) 5件	→ 9件	グラフ挿入
創業者支援制度を活用した創業者数 (累計) (R2~)	(R4) 0人	→ 5人	
従事者数	(R3) 3,086人	→ 3,210人	

現状と課題

- 国道 168 号上庄地区バイパス東側の企業誘致計画は進んでおらず、その実現が課題となっています。また、椿井地区においては土地利用の余地があり、商業施設としての活用が求められます。
- 平群駅西特定土地区画整理事業の完了に伴い、駅前に「総合文化センター」が整備されるなど新しい街並みが形成されつつあります。今後、本町の玄関口としての機能強化とにぎわい創出が求められます。
- 町内中小企業の金融の円滑化を図るため、事業資金の融資斡旋を行い、その融資に対し 1%の利子補給を実施しています。
- 労働への意欲と能力のある高齢者や子育てをしながら働く方など、それぞれの望む働き方を実現する多様な形態での就職情報の発信強化が求められています。
- 近畿大学や農業者、事業者との連携による特産品開発を行い、産業振興を図っています。



写真の説明



写真の説明

関連する SDGs



総合戦略 ①仕事 ②人の流れ  
③結婚・出産・子育て

施策の展開方向

①遊休地におけるにぎわい創出の推進と既存産業の活性化への推進

- 工業ゾーンへの企業誘致の実現に努め、町の産業振興へつなげていきます。
- 国道 168 号上庄バイパス沿道サービスゾーン（平等寺・三里地区、椿井地区）において、空閑地への商業施設及び生活関連施設の誘導に向けて取り組みます。
- 平群駅前において、生活の核となる機能の集積等、活性化に向けた取組などに努めます。
- 民間企業の活力による経済活性化を促進するため、町内に進出を行った新規商工業者に対する支援体制を整えます。
- 引き続き町内中小企業の金融の円滑化に対する支援を行います。
- 引き続き近畿大学等との産学官連携を行い、商品開発等の産業振興を推進します。

都市建設課・観光産業課

想定される取組

- ◇土地利用計画・規制制度の周知
- ◇地区計画の適正な活用
- ◇小口融資制度の利用促進
- ◆中小企業等の DX の伴走型支援【戦略①】
- ◆工場等立地促進条例による優遇措置の活用【戦略①】
- ◆産学官の連携による地域産業振興【戦略②】

②新たな産業の創造や多様な働き方への支援

- 高齢での就労や家族共働きなど、多様な働き方に対応した就職情報の発信に努めます。
- 商工会との連携を行い、町内の商工業者に対する各種支援制度について、効果的な情報提供を行うとともに、相談体制の充実など新たな産業の創造に取り組む町内民間事業者を支援する取組を推進します。
- テレワークやサテライトオフィスの整備支援など、多様化する働き方を実現するための支援策を検討します。

観光産業課

想定される取組

- ◆多様化するライフスタイルに対応した働き方に対する情報発信や相談等の実施【戦略③】
- ◇商工会との新たな連携の促進
- ◇地域資源を活用した商品開発への支援
- ◆サテライトオフィスなど整備支援策等の検討【戦略①】

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 地域活性化を図るため、地域内消費を心がけましょう。
- 民間事業者は、地域に根差した店舗経営を目指すとともに、積極的にイベントや PR 活動を実施しましょう。
- 民間事業者は、他の事業者や農業者との連携を積極的に図り、地域の魅力向上や活性化に努めましょう。

関連計画

- ◇平群町都市計画マスタープラン
- ◇平群町創業支援等事業計画

人を増やす

移住・定住の促進と良好な住環境づくり

方針

- 国や県等の補助金を活用した支援策を検討し、若い世代を中心とした移住・定住の促進を目指します。
- 老朽化した空き家の除却・改修や所有者ニーズを踏まえた空き家対策により住環境の向上を目指します。
- 自然豊かな平群町の特徴を活かした、良好なまちづくりを目指します。
- 公営住宅については、長寿命化を含めた適正な管理に努めます。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
空き家戸数	(R4) 310戸	→ 現状維持	グラフ挿入
空き家バンク成約件数 (H27.4～累計)	(R4) 11件	→ 21件	
20～39歳の人口	(R4) 2,799人	→ 2,493人	

現状と課題

- 本町の30～40代の転入者数は増加傾向にあるものの、国や県と比較すると人口に対する転入者数の割合は少ない状況です。
- 空き家の長期放置により、犯罪に狙われやすくなる、衛生面での問題が生じるなどといった住環境の悪化が懸念されます。また、管理不全の空き家は倒壊等危険な状況になることがあり、そのような物件への対応が求められています。
- 高度成長期に住宅を購入した世代が高齢化しており、今後は空き家の増加が加速する可能性があります。
- 本町では空き家バンクを設立し、運用を行っていますが、空き家バンクの登録件数がまだ少ない状況です。
- 町内には丘陵地を中心に閑静で緑豊かな住環境を備えた住宅地が多数あり、豊かな自然環境や農地が隣接し、のどかな住環境が形成されています。
- 公営住宅については、築年数の経過により老朽化しており、適切な維持管理が求められています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

関連する SDGs



総合戦略 ②人の流れ

施策の展開方向

①若い世代の獲得に向けた移住・定住促進

- 主に子育て世代の人口増加に向けた新たな施策を検討・実施し、移住・定住促進を図ります。
- ホームページや SNS、ポスター等を通じて、移住・定住促進に繋がる情報発信を積極的に発信します。

まち未来推進室

想定される取組

- ◆移住・定住を促進する新たな施策の検討と実施【戦略②】
- ◆移住促進 PR 活動の実施【戦略②】

②住環境の向上と併せた空き家の活用・流通推進

- 安全で安心できる住環境の整備推進のため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助等を行います。
- 所有者ニーズを踏まえた空き家対策を検討及び実施することで、空き家の発生数や管理不全の空き家数の抑制に努めます。
- 空き家の見回りや空き家予備軍の把握、公園緑地の維持管理活動等、自治会等による地域での住環境の維持管理に対して支援を行います。
- 民間事業者との連携も含めた空き家の流通促進を図るとともに、地域資源としての利活用策を検討します。

都市建設課／まち未来推進室

想定される取組

- ◇既存木造住宅の耐震化促進
- ◇空き家バンクの利用促進
- ◇不動産業者との連携
- ◆空き家対策及び利活用の検討と実施（空き店舗の活用含む）【戦略②】
- ◇不動産業者への広告発信等

③田園的で良好な住まいづくりの推進

- 快適で質が高く、周辺の自然環境と調和した住宅づくりの促進のため、平群町開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。
- 平群町の立地特性を活かし、家庭菜園や貸し農園、農業体験等、より付加価値の高い田園的なライフスタイルを促進する活動を支援します。

都市建設課／観光産業課

想定される取組

- ◆テレワーク等の住環境・ライフスタイルに対する支援【戦略②】
- ◇貸し農園の周知及び促進

④公営住宅の長寿命化と管理

- 平群町公営住宅等長寿命化計画をもとに改善・改修を実施し、長期的かつ良好な施設維持管理を行うとともに、老朽化の著しく用途廃止する予定の公営住宅は引き続き移転勧奨等を実施し順次除却を進めます。

都市建設課

想定される取組

- ◇町営住宅の適正な維持管理

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 災害に強い住宅改修や将来を見据えたバリアフリー化に取り組み、安心して暮らせる住宅環境を構築しましょう。
- 空き家が住環境に与える影響についての理解を深め、その利活用や流通促進に努めましょう。
- 地域団体と民間事業者は、住まいや住宅環境について、近隣住民や行政等との定期的な情報交換に努めましょう。

関連計画

- ◇平群町耐震改修促進計画
- ◇平群町都市計画マスタープラン
- ◇平群町公営住宅等長寿命化計画



## 2-1

## 人を誘導する

## 情報発信

## 町内外への豊かで魅力のある情報発信の推進

## 方針

- 住民の声を積極的に聞く機会の創出や様々な情報媒体を活用した素早く、正確な情報発信を目指します。
- 地域の魅力について町内外へ積極的に発信し、本町の知名度向上と住民の誇りや愛着の醸成を目指します。

## 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
ホームページのアクセス件数（年度累計）	(R3) 420,710回	→ 450,000回	グラフ挿入
ふるさと納税の寄附件数（年度累計）	(R3) 1,384件	→ 3,000件	
各 SNS のフォロワー数 （年度累計） (Facebook, Twitter, Instagram)	(R3) 2,052人	→ 3,000人	

## 現状と課題

- 広報紙について、ホームページでの掲載に加えて広報紙アプリやサイトを活用しているほか、Facebook・Twitter・LINE・InstagramによるSNSを活用した幅広い行政情報の発信を行っています。
- 近年、ICT技術の発展に伴い、多様なコミュニケーションツールやサービスを活用した情報発信が盛んになっている一方で、高齢者への対応を含め、世代に合わせた媒体の活用が求められています。
- 住民との情報交換や交流の場として、住民説明会を継続的に開催しています。
- 町外からみた平群町のイメージの希薄さ、知名度の低さが課題となっており、主に観光や移住・定住の側面から、町外における平群町の知名度向上に取り組んでいます。
- 平群ブランドのロゴマーク「山のぽっけ HEGURich」について、農産物や特産品、観光の分野や公共施設の表示案内版などで活用した情報発信を行っていますが、今後更なる認知度向上に向けた発信が求められています。
- イメージキャラクター「長屋くん」「左近くん」を用いて、町内外に平群町の認知度を広げるPRを行っています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ②人の流れ

## 施策の展開方向

## ①情報交換・交流の場づくりの推進

- 広報紙の作成・配布とともに、インターネットや各種 SNS を活用し、地域活動や町内情報を発信するなど、若者から高齢者まであらゆる世代が活用できる媒体での情報発信を推進します。
- 住民説明会の開催など、情報交換や交流の場づくりを推進することで、住民が地域の活動やまちづくりに参加する機会を引き続き創出します。

## 政策推進課

## 想定される取組

- ◇適切な情報媒体を利用した情報発信の推進・強化
- ◇住民説明会の開催

## ②正確な行政情報の発信・提供

- 住民が必要とする町政情報を、積極的にわかりやすく公開・提供します。
- 情報公開コーナーを継続・充実するほか、新たなメディアを活用した情報発信方法の導入等、常に住民が町政についての情報を得やすくなるような環境整備を検討します。
- 相互発信ツール（チャットボット）の活用等時代に沿った取組を推進します。

## 政策推進課／総務防災課

## 想定される取組

- ◇町政情報のわかりやすい公開・提供・環境整備
- ◇ホームページの充実
- ◇AI を活用した情報発信等の検討

## ③町の知名度向上と住民のシビックプライド醸成に繋がるシティプロモーションの推進

- 住みやすさや地域資源をはじめとした魅力について、平群ブランドやイメージキャラクター等を利用しつつ、デジタルの力を活用して町内外に対して発信を行い、関係人口の増加を目指します。
- ふるさと納税の魅力をもっと向上させることで、町外の方に平群町の知名度の向上を図ります。
- 住民の町に対する愛着を育むため、ふるさと意識の向上に効果的かつ住民に寄り添った情報発信を行います。
- 平群ブランドコピー及びロゴマークの更なる発信を図ります。

## 政策推進課/まち未来推進室/観光産業課

## 想定される取組

- ◆イベントや SNS 等を利用した町外への魅力の発信【戦略②】
- ◇住民の町に対する愛着を育む情報発信の実施
- ◆オンライン関係人口の創出・拡大【戦略②】

## 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 住民説明会等に積極的に参加し、行政に意見や提案等を伝えましょう。
- 自らの SNS を活用し、自分たちが住む町の魅力を友人等に発信しましょう。

## 関連計画

人を惹きつける

緑豊かな自然を守り、育て、繋ぐ取組の推進

方針

- 里山の自然環境を保全するとともに、町全体での美化に努め、将来に渡り豊かな自然環境に包まれた暮らしのできるまちづくりを目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
里山整備実施面積 (累計)	(R3) 5.62ha	→ 6.77ha	グラフ挿入
不法投棄処理件数 (年度累計)	(R3) 55件	→ 30件	
クリーンアップ活動への参加者数 (年度累計)	(H30) 420人	→ 420人	

現状と課題

- 生駒山地及び矢田丘陵については、自然環境の保全を図っている他、近年では補助事業を活用してボランティア団体による山林・竹林の整備が行われています。一方で、整備団体の活動員の確保および今後の活動継続が求められています。
- 自治会等による緑地の維持管理や清掃活動等、住民の自発的な活動が積極的に展開されており、快適で美しいまちづくりが行われています。
- ポイ捨て及び飼い犬のフンの放置を防止し、住み良い生活環境の確保や清潔なまちづくりを進めることを目的に「平群町ポイ捨て等の防止条例」が2020（令和2）年1月1日に施行されました。
- 飼い主のいない猫により生活環境が損なわれている場合、猫の避妊・去勢手術に対して助成を行っており、県TNR事業についても参加をしています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

関連する SDGs

総合戦略

施策の展開方向

①里山づくりの取組による自然に包まれたまちづくりの推進

- 住民や住民活動団体等への里山整備活動に対する支援策により、積極的な里山の維持管理活動の促進を図ります。
- 自然環境の保全に関する適切な情報提供を行うことで、今後の担い手創出に努めます。
- 金剛・生駒紀泉国定公園等の自然環境の保全に努めます。

観光産業課

想定される取組

- ◇整備団体への補助金の交付
- ◇木材・竹材破砕機の貸出
- ◇金剛・生駒紀泉国定公園等の自然環境の保全

②環境美化の推進

- 緑地の維持管理や清掃活動等、住民による自発的な環境美化の活動に対し、積極的な支援を行います。
- 竜田川体験学習などの活動を通して、環境美化意識の普及・啓発活動を行い、今後の担い手創出に努めます。
- 「平群町ポイ捨て等の防止条例」の推進を行い、住民や民間事業者及び土地所有者等の美化意識向上を図ります。
- 空き地の適切な管理のため、土地所有者や自治会と連携して積極的な支援や効果的な指導を行います。
- 県 TNR 事業を引き続き行うことで、地域における猫の繁殖を抑え生活環境の改善を図るとともに、動物愛護の意識高揚を図ります。

住民生活課

想定される取組

- ◇地域団体への活動支援
- ◇環境美化意識の普及・啓発活動の実施
- ◇「平群町ポイ捨て等の防止条例」の周知・啓発
- ◇不法投棄防止用の防犯カメラの設置推進
- ◇県 TNR 事業への申請と町単独事業（地域の環境対策費補助金交付）の実施

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 里山の自然環境や生態系等に対し、関心・意識を持ち、保全活動等に積極的に参加しましょう。
- 山林にごみを捨てず、無秩序に動植物を捕獲・採集しない等マナーを守りましょう。
- 飼い犬のフンの適切な処理をしましょう。
- 美化活動等に積極的に参加しましょう。

関連計画

- ◇平群町森林整備計画

## 持続的で安定した農業経営に向けた取組の推進

### 方針

- 本町の基幹産業である農業の活性化により、平群町全体の産業の活性につなげるとともに、町内の農作物の価値を向上させることで、持続可能な農業経営基盤の確立を目指します。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
新規就農者数（累計）	(R3) 9人	→ 11人	グラフ挿入
特定農業振興ゾーン 高収益作物作付面積	(R4) 6.5ha	→ 8.9ha	
遊休農地の解消面積 (全体 20ha) (年度累計)	(R3) 0ha	→ 4ha	

### 現状と課題

- 町内において、イチゴ（古都華）など高収益作物を中心とした新規就農者が増加しています。高収益作物栽培の推進により、農業経営の強化を図る動きがみられます。
- 認定こども園および学校給食への提供、近大病院への食材提供など、地産地消を推進する取組を行っています。
- 農産物のブランド認定を行い、ポスターやロゴを用いて PR 及び情報提供を行っており、販路拡大に努めています。
- 道の駅大和路へぐり・くまがしステーションではイベント等を積極的に実施し、地元農産物の販売を促進しています。
- 近年、農業者の高齢化を背景に遊休農地が増加傾向にあり、また後継者不足が課題となっています。
- 基幹的農業従事者の確保・定着が全国的な課題であり、スマート農業や半農半 X など多様な技術の導入や関わり方の試行が各地で取り組まれています。
- 近畿大学農学部と産学官連携により、アグリビジネス実習や特産品開発が行われています。今後はより付加価値の高い農産物の開発が求められます。
- 鳥獣による農作物の被害は年々深刻化しており、また猟友会員の高齢化や狩猟免許保持者の減少がみられます。組織体制の整備を通じて、効果的な捕獲方法を確立していく必要があります。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明



関連する SDGs



総合戦略 ①仕事

施策の展開方向

①農産物のブランド力向上および高収益作物の推進による農家の経営支援 観光産業課

- 引き続き農産物のブランド認定・運用と情報発信を行い、平群の農産物の価値を高めます。
- 異業種とのコラボも含め、ブランド力を支える人や体制づくりを支援するとともに、平群ブランドの啓発に努めます。
- 特定農業振興ゾーンを中心に、新規就農者の増加を図ります。
- 町内産の高収益作物について、情報発信および販路拡大により、知名度向上に努めます。
- 町内の民間事業者等と連携し、地産地消の推進を行い、農産物を通じて地域の愛着を醸成します。
- 近畿大学農学部等との包括連携協定を活かし、より付加価値の高い農産物の開発に向けた取組を推進します。
- 道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」と連携し、地元農産物の更なる販売促進に繋がります。

想定される取組

- ◇平群ブランドの啓発
- ◇町内産の高収益作物の知名度向上のための情報発信
- ◇道の駅と連携したイベント等の開催
- ◆産学官連携の促進(近畿大学包括連携協定等)【戦略①】
- ◆町内産の高収益作物の食品産業との連携強化【戦略①】

②営農体制強化への支援

- 新規就農に対する支援や土地所有者と就農希望者のマッチング支援などにより、新規就農者の増加を図るとともに、町内の営農体制の強化を目指します。
- 遊休農地における就農・営農を促進し、町内の農地保全に努めます。
- スマート農業や半農半Xなど、時代に即した新たな技術や農業への取組のあり方について検討を進め、支援体制の充実、営農システムの構築を図ります。
- 有害鳥獣対策については、駆除・防除に関する講習などの捕獲者育成支援など地域ぐるみでの対策を強化するとともに、地域や近隣市町と連携した駆除事業を継続的に実施します。

観光産業課

想定される取組

- ◇新規就農者への支援
- ◇担い手の確保と集落営農の組織化
- ◇新規営農システムの構築
- ◇休耕地、遊休農地への景観作物の植栽の検討
- ◆スマート農業に係る交付金等の情報発信【戦略①】
- ◇広域連携による有害鳥獣駆除事業の推進

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 町内で生産された農作物を積極的に購入しましょう。
- 民間事業者（農業者）は、食料の安定供給をはじめとした、農業経営の安定化、生産・品質の向上に努めましょう。
- 民間事業者（農業者）は、異業種との連携を強化し、農作物の価値を高めるとともに、効率的に生産から販売に努めましょう。
- 地域団体、民間事業者（農業者）は、遊休農地の解消を図り農地の保全に努めましょう。
- 地域団体、民間事業者（農業者）は、後継者の育成や新規就農の支援に積極的に取り組みましょう。
- 有害鳥獣を発見した場合、行政に速やかに連絡するとともに、防除対策に協力しましょう。

関連計画

- ◇平群町農業振興地域整備計画
- ◇農業経営基盤の強化促進に関する基本的な構想
- ◇平群町鳥獣被害防止計画
- ◇平群町アライグマ防除実施計画
- ◇平群町農地等の利用の最適化の推進に関する指針

人を惹きつける

豊かな歴史資源や特産品を活かした観光振興の推進

方針

- 歴史的遺産や文化財、豊かな自然、農産物といったまちの魅力を観光資源として活用し、住民や民間事業者等と連携して発信することで、歴史と自然の魅力を感じられるまちを目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
観光客入込数 (信貴山朝護孫子寺・千光寺・道の駅の年度累計)	(R3) 926,237人	→ 1,000,000人	グラフ挿入
観光ホームページアクセス件数 (年度累計)	(R3) 156,564件	→ 220,000件	

現状と課題

- 本町には、多くの文化財や歴史的資源があり、各種観光パンフレットの作成や観光ホームページ内での平群町ゆかりの人物・文化財等の紹介など、PR活動を行っています。
- 信貴山城跡と椿井城跡を観光資源としての更なる活用と情報発信が求められます。
- 道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」は、直売所や飲食機能等を備え、県内外から年間30万人以上が訪れる観光拠点として、平群町を訪れる観光客の増加に大きな役割を果たしています。
- 観光資源としての農産物の発信が不足しています。道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」等との連携を強化し、「集客」という観光の力を「消費」という地域の潤いや活力につなげる取組が一層求められています。
- 平群町観光ボランティアガイドの会が精力的に活動を行っており、住民が観光振興の一翼を担っていただいています。
- 隣接市町村をまたいだ広域連携観光組織が結成されており、地域一体での観光活性化を行う素地が形成されています。
- 新型コロナウイルスの影響で観光産業が大きく縮小したことを踏まえ、アフターコロナを見据えた観光産業の振興が求められています。
- マイクロツーリズム（近隣からの観光や日帰り観光）やガストロノミーツーリズム（食文化に触れることを目的とした観光）が全国的に推進されています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ②人の流れ

## 施策の展開方向

## ①歴史的観光拠点づくりの推進

- 歴史・文化的価値が高い町内の観光資源を活用し、地域の活性化に努めます。
- 観光資源を訪れやすくするためのサインや散策道、休憩施設等の整備を推進します。
- 歴史ファンを意識したホスピタリティ（おもてなし）の充実を図ります。
- 文化財の保存を行いながら、観光の側面から価値の創出に努めます。

## 観光産業課

## 想定される取組

- ◇観光資源付近のインフラの整備促進
- ◇観光資源としての文化財の活用
- ◆観光拠点におけるICT化の整備、デジタルを活用した情報発信【戦略②】

## ②平群の自然資源や特産品を利用した観光の推進

- 優れた景観を誇るポイントについて、持続的な自然環境の活用のため、適切な整備を推進します。
- 自然と地理的環境が生み出す「平群谷の景観」にフォーカスした、地域の特性を発信します。
- 農や食と連携した体験型観光施策の推進により、地元の農産物のファンづくりに努めます。
- 平群町の農産物等を活用した特産品の開発支援を検討します。

## 観光産業課/都市建設課

## 想定される取組

- ◇SNS等を活用した旬のへぐりの魅力の発信
- ◇景観の適切な整備の推進
- ◇観光サービス・地域特産品の開発支援
- ◇魅力的な景観フォトコンテスト等の開催
- ◆観光アプリの活用【戦略②】

## ③道の駅や観光ボランティアガイドとの連携強化

- 地元農産物の総合情報発信拠点である道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」との更なる連携を図ります。
- 平群町観光ボランティアガイドの会の活動に対する支援を推進します。

## 観光産業課

## 想定される取組

- ◇観光ボランティアガイドの活動支援
- ◇道の駅と連携した観光イベント等の開催

## ④広域連携・企業連携による観光資源の発掘と活用

- 他府県や近隣市町村と連携して広域的な観光振興を図ります。
- 住民やNPO法人、民間事業者等と連携して観光資源の魅力強化を図ります。

## 観光産業課

## 想定される取組

- ◇WESTNARAの取組強化
- ◇お城フェスなどの観光イベントへの積極参加
- ◇信貴山城跡等の整備・PR

## 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 町内の豊富な観光資源に対して関心を持ち、理解と知識を深めましょう。
- 町内外の知人・友人等に町の魅力を伝えましょう。
- 観光資源の整備ボランティア等に積極的に参加しましょう。

## 関連計画

- ◇平群町観光基本計画
- ◇椿井城・信貴山城整備計画

## 多様性を重んじるコミュニティの形成

### 方針

- 多様性や人権を尊重し合う社会、平和な社会の実現を目指します。
- 男女が平等・対等にあらゆる分野に参画し、共に責任を担う男女平等社会の実現を目指します。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
「人権と平和の尊重」に対する住民の満足度	50.9%	→ 上昇	グラフ挿入
「男女共同参画社会の実現」に対する住民の満足度	48.1%	→ 上昇	

### 現状と課題

- 年齢や性別、障がいの有無、民族等の違いによる偏見・差別だけではなく新型コロナウイルス感染症に関連した不当な偏見等、新たな社会的変化にまつわる差別がみられ、また、誹謗中傷による被害も多様化する中、公的機関の提供する正確な情報を入手し、正しい判断と行動に努めることが求められています。
- 多様性を重んじ、多文化共生を図るコミュニティの実現には、人権問題の住民に対する周知と定着、啓発もさることながら子どもの時からの教育も必要とされています。
- 本町では、人権擁護委員の活動サポートや人権対策推進協議会、人権教育推進協議会人権・命の尊さへの住民集会等、人権啓発および人権教育に取り組んでいます。
- 本町では、手話は言語であるとの認識に基づき、手話を必要とする住民の社会参加を保障するため、2022（令和4）年に手話言語条例を策定しました。
- 近年の国際社会情勢の複雑化により、平和教育・啓発の在り方が問われています。本町では、「非核・平和町宣言」を行い、教育・啓発活動に取り組んでいます。
- 男女がそれぞれの個性や能力を活かし社会参画を行える他、LGBTQ+等多様な性の在り方が保証され、一人ひとりが自分らしく活動できる社会が求められています。
- DVやセクシャルハラスメントなどの問題も社会問題としてクローズアップされています。
- 本町では、啓発講演会の開催を行っている他、公的審議会、各種行政委員会等への女性委員の登用等で女性の社会参加の促進に努めています。また、中学校の制服について多様性に対応した見直しを行いました。

写真挿入

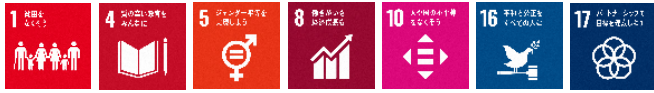
写真の説明

写真挿入

写真の説明



関連する SDGs



総合戦略 ③結婚・出産・子育て

施策の展開方向

①多様性や人権、平和の尊重

- 幼少期から教育機関と連携した人権教育・啓発活動に取り組み、多様性を認め合う人権尊重のまちづくりを推進します。
- 多種多様な人権問題に対する正しい情報発信を行い、あらゆる差別対策に取り組みます。
- 人権擁護委員の活動支援の継続をはじめ、住民による人権意識の啓発を推進します。
- 唯一の被爆国としての経験等を次世代に継承する平和学習を充実させ、平和な社会の実現と平和意識の高揚の促進に努めます。
- 手話を含む、多様な言語への対応を促進します。

総務防災課／教育委員会

想定される取組

- ◇ 継続的な人権意識の啓発
- ◇ 小中学生向けの人権教育の実施
- ◇ 「平和のための戦争展」など住民との協働による平和啓発活動の推進
- ◇ 「人権・命の尊さへの住民集会」の開催
- ◇ 「差別をなくす協調月間」の推進

②男女共同参画社会の実現

- 平群町男女共同参画プランに基づき、男女がそれぞれの個性や能力を発揮できる男女共同参画によるまちづくりを進めます。
- 男女ともに働きやすい職場づくりや、家庭、地域活動に参画するための啓発を推進するとともに、特に男性に対する育児休業取得の推進、家事育児参加に向けた教室の開催等を実施します。
- 性別による偏見やこだわりのない社会を推進するための教育啓発を推進するとともに、男女がともに主体的に参加・参画できるような意識啓発を進めます。
- LGBTQ+等セクシャル・マイノリティ（性的少数者）への理解に向けた人権教育・啓発等の推進を行うため、学校、保護者、教育委員会と連携を行います。
- DV やセクシャルハラスメント等の防止に向けた取組を推進します。

総務防災課

想定される取組

- ◇ 男女共同参画推進のための広報・啓発・講演会開催
- ◇ 男女共同参画推進条例の検討・制定
- ◇ 審議会や委員会への女性委員登用の推進
- ◇ セクシャル・マイノリティへの理解の促進
- ◆ 女性活躍に向けた意識改革や働きかけ、働く女性を支援する対策事業における県との連携【戦略③】
- ◇ DV 等の防止に向けた啓発活動

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 子どもに「男らしさ、女らしさ」を押し付けず、個性を尊重した育児に努めましょう。
- 国外での出来事に関心を持ち、自分にできる支援をしましょう。
- 性別に関わらず役割分担し、男女ともに家事や子育て等に取り組みましょう。
- 民間事業者は、仕事と家庭の両立ができるような職場環境づくりに努め、性別にとらわれない能力主義のもと、管理職等への女性登用を進めましょう。

関連計画

- ◇ 平群町男女共同参画プラン
- ◇ 特定事業主行動計画
- ◇ 平群町手話言語条例



4-2

住民の暮らしを支える施策

消防・防災

災害に強いまちづくりと防災コミュニティの形成

方針

- 「平群町地域防災計画」や「平群町耐震改修促進計画」、「平群町国土強靱化計画」などの防災対策の計画を推進し、住民が安全・安心に住み続けられるまちづくりを目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
自主防災組織の結成率 (結成組織人口/総人口)	(R4) 89.3%	→ 94.5%	グラフ挿入
防災アプリのダウンロード数 (R4.4～累計)	(R4) 738件	→ 1,600件	

現状と課題

- 地震、風水害等の自然災害に強い都市基盤の整備や、災害発生時の「自助」「共助」「公助」による対策体制の整備・強化に対する関心が高まっています。
- 災害時に土砂災害、河川氾濫等の危険個所がありますが、砂防堰堤や河川改修等の防災対策を図ってきたこともあり、町内の自然災害による被害は全国の水準よりも少ない状況にあります。
- 自主防災組織により、避難訓練の実施など精力的な防災活動が行われていますが、組織の活動状況や住民の加入率は地域ごとに差がある状況です。
- 災害時における避難行動を支援するため、2019（令和元）年に防災行政無線のデジタル化、2020（令和2）年3月に平群町地域防災計画とハザードマップ改訂、2021（令和3）年3月に防災アプリ運用を開始しました。
- 公民館など主な避難場所となる公共施設を中心に耐震化を進めているほか、かまどベンチの設置を行っており、随時メンテナンスを実施しています。
- 災害時における連携協定の締結に取り組んでおり、2021（令和3）年度末で45件の協定を結んでいます。
- 火災に対しては、消防団により体制が組織されていますが、高齢化による組織継続が課題です。
- 消火栓の老朽化が進行しており、対策が求められます。
- 災害時の拠点となる役場庁舎の老朽化が進んでおり、早期の対応が求められています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ④魅力的な地域

## 施策の展開方向

## ①災害に強いまちづくりと地域の防災体制づくりの推進

- 自主防災組織づくりの強化や自主防災組織の活動を支援し、防災訓練の実施や確実な情報伝達に取り組むことで、住民の防災意識向上を図ります。
- ハザードマップに掲載されている情報の周知やメール登録、防災アプリの更なる普及に向けて、講習会の開催など住民への啓発と利用促進を図ります。
- 災害発生時の要援護者への支援体制の構築を図ります。
- 公共施設の耐震化を順次実施するとともに、民間施設や住宅に対しても耐震化を促進します。
- 役場新庁舎の建設にあたっては、災害時の拠点機能の強化をはじめ、防災体制の強化、充実を図ります。
- 大規模災害に備え、防災備蓄の共有や近隣市町や民間事業者との防災協定の締結など、防災関係機関や団体との連携を強化します。
- 災害時には、「平群町地域防災計画」を中核に、「避難所運営マニュアル」や「地震防災対策アクションプログラム」に基づき、地域の実態に即した対策などの防災対策を総合的に推進します。
- 自主防災組織が未結成であったり、活動が停滞している地域に対し、共助の必要性を訴えます。

## 総務防災課

## 想定される取組

- ◇ 自主防災組織への支援
- ◆ 様々なツールを活用した防災情報の共有と災害時要援護者への支援【戦略④】
- ◆ 防災アプリ等による啓発と利用促進【戦略④】
- ◇ 災害時の拠点となる新役場庁舎の建設に向けた基本計画づくり
- ◇ 他市町村や民間と連携した防災力の強化
- ◇ 防災訓練等の実施
- ◇ 防災士の資格取得の推進
- ◆ 防災備蓄の整備【戦略④】

## ②消防力の強化

- 消防団をはじめとする消防組織について、体制の強化に努めます。
- 消防水利弱点地域の解消を図るなどの防火環境を充実します。
- 消火栓の適切な補修・管理を行うことで、老朽化に対応します。

## 総務防災課

## 想定される取組

- ◇ 消防組織の体制強化
- ◇ 消火栓の老朽化対応

## 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 日頃から非常食の備蓄、家具等の転倒防止、火災警報装置の設置等、災害に対する備えをしましょう。
- ハザードマップに掲載されている情報を確認したり、防災訓練に積極的に参加するなど自助の力を養いましょう。
- メール登録や防災アプリ等を取り入れ、町から発信される情報を即時に受け取れるようにしましょう。
- 地域の自主防災組織づくりに努めるとともに、消防団への加入・協力を努めましょう。
- 地域団体、民間事業者は、行政と連携して災害時における支援体制の充実を図りましょう。

## 関連計画

- ◇ 平群町地域防災計画
- ◇ 平群町耐震改修促進計画
- ◇ 平群町消防水利弱点地域解消年次計画
- ◇ 避難所運営マニュアル
- ◇ 福祉避難所設置・運営マニュアル
- ◇ 平群町国土強靱化計画

## 安全・安心に暮らせるまちづくりの確立

### 方針

- 交通安全、防犯、消費者保護などの取組を推進し、安全・安心に住み続けられるまちづくりを目指します。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
町内での交通事故発生件数 (年度累計)	(R3) 26件	→ 0件	グラフ挿入
犯罪発生件数/犯罪認知件数 (年度累計)	(R3) 61件	→ 0件	

### 現状と課題

- 住民の多くが自動車により日常生活での移動を行っており、交通環境の安全性の向上と併せ、交通ルールを確実に守る習慣づくりに取り組む必要があります。
- 独居老人世帯・高齢世帯や空き家等の増加といった地域社会の変化に応じた、地域における防犯体制の整備を図る必要があるため、地域支えあい推進員の定期的な訪問などによる見守り・安否確認を行っています。
- 高齢化が進む一方で、2022（令和4）年より成人年齢が18歳に引き下げられました。また消費者トラブルの内容が複雑・多様化する中で、必要な最新の消費生活に関する知識や情報をいかに広く届けるかが課題になっています。
- 生駒郡消費者サポートネットワーク（はっとほっと）では、当該町の在住者のみならず生駒郡全体で毎日相談対応ができるように広域的な窓口を設置し、消費者の安全性と利便性の向上を図っています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ④魅力的な地域

## 施策の展開方向

## ①交通安全の確保

住民生活課／都市建設課／総務防災課

- 防護柵や道路標識等、交通安全施設の適切な整備および維持管理を図ります。
- 交通安全指導員等による交通安全思想の啓発、および正しい交通道德の確立に努めます。
- 通学路の安全確保を進めるとともに、幅広い年齢層を対象に交通安全教室を実施します。

## 想定される取組

- ◇ 道路交通環境の整備
- ◇ 交通安全教室の開催
- ◇ 高齢者の免許証返納の啓発

## ②防犯力の向上

住民生活課

- 防犯協議会会員など関連地域団体との情報共有に努めることで、住民による地域の安全と安心を守る諸活動への積極的な支援を行います。
- 防犯灯や防犯カメラの適正な設置・管理を行います。

## 想定される取組

- ◇ 地域団体への支援
- ◆ 防犯灯や防犯カメラの適正な設置・管理【戦略④】

## ③消費生活の保護

観光産業課

- 商品やサービスに関する安全性や地球環境への影響等について情報発信や啓発活動等を行い、自立した消費行動を促します。
- 啓発パンフレット・ステッカーや出前講座・講演会など様々な手法を用いることで、新成人から高齢者まで世代に合わせた消費生活についての情報提供を行います。
- 生駒郡消費者サポートネットワークによる周辺市町村と連携した相談窓口の運用を継続します。
- 詐欺対策電話機購入の補助など、住民自らによる消費者トラブルの対応に対して支援を行います。

## 想定される取組

- ◇ 消費生活出前講座の開催
- ◇ 周辺市町村と連携した相談窓口の運用継続
- ◇ 消費者トラブルの対応への支援

## 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- シートベルトを着用する等、交通ルールや交通マナーを守りましょう。
- 子どもや高齢者の安全を見守る活動等に積極的に参加しましょう。
- 地域の犯罪発生情報に注意し、戸締り等の自分でできる防犯対策に取り組みましょう。
- 悪質な民間事業者等の情報や環境への負荷等、消費生活に関する知識や情報を積極的に得るように努めましょう。

## 住民の生活を支える公共交通の維持

## 方針

- 地球温暖化への配慮を含め、公共交通のより高い利便性の確保を図るとともに、利用促進を行い交通網の維持を目指します。
- 高齢化の進行に伴う、移動困難者増加に対応した移動手段の確保を目指します。

## 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
鉄道駅（町内4駅）の 1日の乗降客数	(R3) 8,193人	→ 10,000人	グラフ挿入
コミュニティバスの 利用者数（年度累計）	(R3) 17,500人	→ 20,000人	
デマンド型乗合タクシー の予約数 (R3.10～累計)	(R4) 7,752人	→ 10,000人	

## 現状と課題

- 平群町と近郊都市を結ぶ主な公共交通手段である近鉄生駒線の利用人員は、近年減少を続けており、町内の各駅（東山駅、元山上口駅、平群駅、竜田川駅）の乗降客数も減少傾向にあります。
- コミュニティバスについては、運行の効率性を高める取組を行っており、2018（平成30）年度に3路線から2路線へ変更を行ったほか、2021（令和3）年度からICカードへの対応や商業施設前のバス停設置、バスロケーションシステムの導入を行っています。
- 2021（令和3）年10月より、平群町デマンド型乗合タクシーの実証運行を開始しました。今後、既存の各公共交通と連携を行い共存する仕組みづくりが求められます。
- 運転免許証の自主返納者数が増加傾向にあることを踏まえ、主に交通空白地に住む高齢者を対象とした移動困難者に対応した交通手段を推進する必要があります。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明



関連する SDGs



総合戦略 ④魅力的な地域

施策の展開方向

①公共輸送機関の確保と充実

- 鉄道、バス、タクシー民間事業者との連携を強化し、乗り継ぎやルートについての情報発信（乗り継ぎに関する内容など具体例を追記）を行うことで公共交通機関の利用促進を図り、交通網の維持に努めます。
- コミュニティバスの利便性および効率性の向上に向け、利用者数や住民ニーズを把握し、必要に応じて見直しを行います。
- 鉄道駅を中心としたエリアにおいて、生活関連施設とそれらを結ぶ道路等について、バリアフリー化に向けた検討を行います。
- 平群駅をはじめとする駅前環境の整備等、利用促進に向けた取組を検討します。

総務防災課

想定される取組

- ◆各交通民間事業者との連携強化（利便性向上への要望など）【戦略④】
- ◇コミュニティバスの利便性および効率性の向上
- ◆公共交通分野のデジタル化【戦略④】

②移動困難者対策の推進

- 免許を持たない住民や高齢者を中心とした移動困難者の実態把握に努め、ニーズを把握します。
- 地域公共交通総合連携計画に基づき、デマンド型乗合タクシーの試行運転を通じた課題等の検討を行い、本格運行を目指します。
- デマンド型乗合タクシーとコミュニティバスが互いに異なる役割分担を行ったうえで既存の公共交通と共存できる仕組みづくりを行います。

総務防災課

想定される取組

- ◆移動困難者の実態把握【戦略④】
- ◆デマンド型乗合タクシーの試験運行の推進および本格運行の検討【戦略④】

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 鉄道、バス、タクシーコミュニティバス、デマンド型乗合タクシーなど公共輸送機関を積極的に利用しましょう。

関連計画

- ◇平群町地域公共交通総合連携計画

4-5

住民の暮らしを支える施策

健康

健康で安心して住み続けられる保健医療体制の充実

方針

- 全ての住民が健康かつ住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉・医療・保健・教育等、多様な部門との連携強化により住民の健康増進を推進し、健康でいきいきと暮らせるまちを目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
住民の健康寿命 (65歳平均自立期間)	(R1) 男性 18.64年	→ 延伸	グラフ挿入
	女性 21.12年		
特定健診受診率 (受診者数/40～74歳の 国民健康保険加入者数)	(R3) 40.4%	→ 60.0%	

現状と課題

- 健康へぐり21計画に基づく取組をはじめ、各種保健予防活動に取り組んでいます。また、フレイル予防や心と身体の健康づくりのための健康運動教室など、医療と保健事業・介護予防が一体となった事業を進めています。
- ヘルスポランティアと協働した茶話会や講座開催など本町独自の活動に取り組んでいます。
- 地域医療サービスについては、町内の十数か所の医療機関により提供されている他、近隣市町とも連携し、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。
- 新型コロナウイルス等の感染症の流行について、新型インフルエンザ対策行動計画の実行により関係課が連携した対策を実施しています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ④魅力的な地域

## 施策の展開方向

## ①健康づくりの推進

- 全ての世代における健康づくりの意識の高揚を図り、心身の健康に関する情報の普及・啓発等を行うことで、住民の健康寿命の延伸を目指します。
- 心身の健康増進を図るため、ヘルスポランティア等と連携した取組強化を図ります。
- フレイルや生活習慣病など、生活習慣により引き起こされる健康問題について、関係機関・団体と連携して重症化予防の啓発を行います。

## 健康保険課

## 想定される取組

- ◇地域の運動習慣づくりや食生活改善活動への支援
- ◇幼児期からの食育の推進
- ◇各種健診・検診の受診促進
- ◇生活習慣により引き起こされる健康問題の啓発
- ◇健康へぐり21計画の推進

## ②地域の医療・介護・保健体制の充実

- 医療と保健事業・介護予防が一体となった事業を推進することで、住民の健康寿命の延伸を図り、介護予防に努めます。
- 誰もがいつでも最善の診療を受けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実を図ります。
- 新型コロナウイルス等感染症について流行段階に応じた適切な感染防止策を速やかに実施します。
- 緊急医療体制や夜間診療体制について、町内外の医療機関等との連携を含めた検討を行います。
- 西和医療センターの移転改築を促進し、町内外における地域医療の充実を図ります。

## 健康保険課／福祉こども課

## 想定される取組

- ◆フレイル予防／生活習慣病予防の推進【戦略④】
- ◆地域包括ケアシステムの充実【戦略④】
- ◇感染症予防の推進
- ◇かかりつけ医の普及促進

## 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 健康に対する意識を高め、定期的に健康診査やがん検診を受診するなど、健康づくりに取り組みましょう。
- かかりつけ医を持つなど、緊急時に対応できるように準備しましょう。
- 適度に運動する等健康維持に努めましょう。

## 関連計画

- ◇健康へぐり21計画
- ◇第3次平群町食育推進計画
- ◇特定健康診査等実施計画
- ◇新型インフルエンザ対策行動計画

地域で支え合い、安心して暮らすための福祉施策の充実

方針

- 高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせる環境を整備し、住民の福祉活動への自発的な参加により、地域がともに支えあう地域福祉の推進を目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
要介護認定者率 (認定者数/65歳以上の高齢者数)	(R4) 19.6%	→ 21.6%	グラフ挿入
小地域ネットワークの組織数(累計)	(R4) 17団体	→ 20団体	
児童発達支援センターの設置数	0箇所	→ 1箇所	

現状と課題

- 生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて設置された生活支援体制整備事業協議体が中心となり、高齢者になっても元気に暮らし続けるために役立つ情報をまとめた冊子「地域資源集」を作成し、全戸配布を実施しました。
- 配食サービスによる食の自立支援や緊急通報サービスによる緊急時の連絡体制の整備など、高齢者が安心して暮らせるための環境づくりを支援しています。
- 平群町障がい者計画・平群町障がい福祉計画・平群町障がい児福祉計画等に基づき、障がい者や障がい児が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援に取り組んでいます。
- 困窮世帯に対し、「自立支援給付」と「地域生活支援事業」等のサービスを提供しています。
- 本町の要支援・要介護者数は増加傾向にあり、特に要介護度の高い層が増加しています。
- 高齢化の進行に伴い、認知症高齢者の増加が想定されます。

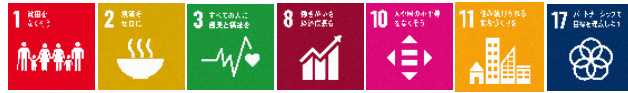
写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ④魅力的な地域

## 施策の展開方向

## ①高齢者の日常生活に対する地域の支援と福祉サービスの充実

- 主に高齢世帯の早期の問題発見と必要な支援の提供を行うため、地域での交流の機会づくりや声かけ、訪問などを、地域住民や関係団体と連携し推進します。
- 「介護保険事業計画」に基づき、高齢者が要介護状態になっても安心して生活を営んでいけるよう介護保険サービスの提供および基盤整備を図ります。
- 高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、住み慣れた家庭や地域で生活を営んでいけるよう介護予防事業をはじめとした取組の充実を図ります。
- 認知症予防の取組強化や早期発見・早期予防の体制強化に努めます。
- 配食サービスによる食の自立支援をはじめ、高齢者が安心して暮らせるための環境づくりを推進します。
- シルバー人材センターと連携した高齢者の就労等を推進します。

## 健康保険課/福祉こども課/住民生活課

## 想定される取組

- ◇地域支援体制の強化と拡充
- ◇介護保険サービスの情報提供と利用促進
- ◇第2層協議体発足の検討
- ◇医療・介護関係者の情報共有の強化
- ◆高齢者の見守りサービスの充実【戦略④】
- ◇ごみの個別回収（ふれあい収集）の実施
- ◇いきいき百歳体操の推進
- ◇シルバー人材センターとの連携強化

## ②障がい者の福祉サービスの充実と自立支援

- 利用者のニーズや障がいの程度に応じて、適切なサービスが公平に利用できるように福祉サービスの啓発と利用促進を図ります。
- 障がい者と家族が生涯を通じて安心できるよう、ライフステージごとに変化する状況やニーズに、支援者側が連携しながら対応し、切れ目のない支援体制の構築を目指します。
- 障がいや障がいを持つ人に対する理解が進むよう、合理的配慮の普及・啓発等に努めます。

## 福祉こども課

## 想定される取組

- ◇各種障がい福祉サービスの啓発と利用促進
- ◇地域生活支援拠点や児童発達支援センターの検討
- ◇障がい者差別防止や虐待防止の啓発
- ◇手話言語条例の普及・啓発

## ③社会保障

- 県福祉事務所と連携して、生活保護を必要とする世帯の実情を把握し、見守り・声掛け活動などの支援を行います。
- 国民年金、各種医療保険制度など社会保障制度について情報提供を行い、地域住民との連携を行いながら、住民が安心して相談ができる体制を整備します。

## 福祉こども課/健康保険課

## 想定される取組

- ◇社会保障制度の情報提供および相談体制の強化

## ④地域で支え合う福祉の推進

- 住民の地域福祉活動への意識を高める啓発活動を展開する他、ボランティア活動等を支援します。
- 民生児童委員、社会福祉協議会、福祉施設、小地域ネットワーク等と連携し、地域の中で支援が必要な人の生活を見守り、支え合う体制づくりを推進します。

## 福祉こども課

## 想定される取組

- ◇地域支え合い活動（子ども食堂など）への支援
- ◇小地域ネットワーク活動への支援
- ◇重層的支援体制整備事業の検討



### 町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- これまで培った知識や経験を地域活動に活かしましょう。
- 障がい者への理解を深め、個人の尊厳を尊重しましょう。
- 生活に困難を抱える人がいたら、関係機関に相談し、必要な支援につなげましょう。
- ご近所つきあいを通じて、お互いに助け合うよう努めましょう。

### 関連計画

- ◇平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画
- ◇平群町障がい者計画・平群町障がい福祉計画・平群町障がい児福祉計画
- ◇平群町地域福祉計画および地域福祉活動計画



住民の生きがいつくりとなる生涯学習・文化活動の推進

方針

- 幅広い年齢層に向けた生涯学習、文化活動、スポーツ活動を推進し、生涯を通じて学ぶことのできるまちを目指します。
- 町内の歴史的遺産や文化財の魅力創出し、ふるさとの誇り・伝統を未来に継承するまちを目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
総合文化センターの稼働率 (利用数/利用可能総数)	(R3) 39.2%	→ 50.0%	グラフ挿入
図書館図書 住民一人あたりの貸出数 (貸出冊数/総人口)	(R3) 4.95冊	→ 7冊	
総合スポーツセンター メインアリーナの稼働率 (利用数/利用可能総数)	(R3) 73.4%	→ 80.0%	

現状と課題

- ふるさとを大切に思う機会の創出が重要視されており、幅広い年齢層に向けた活動が求められています。
- 住民の高齢化が進む中、生涯学習への関心が高まっており、誰もが気軽に参加できる学びの場づくりをより積極的に推進する必要があります。
- 公民館や図書館において、ボランティアの協力を得つつ多彩な文化活動が行われています。
- 平群町総合スポーツセンターをはじめとする充実したスポーツ施設を活用し、若年層から高齢者まで誰もが参加しやすい活動を促進する必要があります。
- 2020（令和2）年に平群町総合文化センターがオープンし、他の町内文化施設とともに賑わい創出を行うことが求められています。
- 子どもから高齢者まで幅広い層の学習を支えるために、図書館の蔵書冊数の充実が必要です。また、高齢者の増加などに対応し、幅広い住民の方が図書館のサービスを利用しやすくなるよう検討する必要があります。
- 平群町は古墳をはじめ多くの文化財を有しており、主要古墳に対しては「平群史蹟を守る会」等諸団体とも連携しながら草刈り等の保安全管理を実施し、歴史資料に対しては住民等の協力を得ながら整理作業等を実施しています。文化財の価値を住民と共有できる形で社会に還元する取組が求められています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

## 関連する SDGs



## 総合戦略 ④魅力的な地域

## 施策の展開方向

## ①生涯を通じて学び、活かすことができる環境の整備

- ふるさとを誇りに思う人づくりを行う活動を推進します。
- 社会教育関係団体の活性化を支援するとともに、関係する NPO 等団体との連携構築を推進します。
- 青少年の健全育成、女性の活躍、高齢者の活躍等、世代に合わせた学びと交流の場の整備に努めます。
- 子どもから高齢者まで幅広い年代の住民が参画する社会教育団体等の地域団体への生きがいづくりや社会参画につながる活動支援に努めます。

## 教育委員会／福祉こども課

## 想定される取組

- ◇ 青少年の生涯学習や活躍の場と機会の確保
- ◆ 多世代交流による学びと交流の場の整備【戦略④】
- ◇ 社会教育団体等への活動支援

## ②文化芸術活動とスポーツの振興

- 文化的な講座や教室等の積極的な開催や文化芸術に親しめる機会づくりを推進します。
- 誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の実施や普及啓発を積極的に推進します。
- 各種関係団体との連携により、文化芸術活動指導者の人材育成・拡充を推進します。
- 学校部活動の地域移行を推進し、子どもたちが積極的にスポーツや文化活動に取り組むことができる環境整備や運営支援に努めます。

## 教育委員会

## 想定される取組

- ◇ 文化教室やスポーツ活動の推進
- ◇ スポーツ・文化芸術活動指導者等の人材育成・拡充
- ◇ 学校部活動の地域移行

## ③総合文化センターの賑わい創出と図書館の機能充実

- 総合文化センターを町内の文化活動の核と位置付け、展示・講演会・イベントの開催などを実施し、文化交流や情報発信を行いつつ賑わい創出に努めます。
- 蔵書の充実と努めるとともに、図書館システム（ICタグ、BDSゲートの設置等）により、利用しやすい図書館づくりにつなげます。
- 図書館ボランティアの人材育成・拡充に取り組みます。
- 子どもから高齢者までが楽しく学び、交流できるように、文化施設の機能強化を促進します。
- 平群町子ども読書活動推進計画に基づき、関係機関の連携により子どもの読書活動を推進します。
- 町内文化施設の貸室稼働率向上に向けた取組を推進します。

## 教育委員会

## 想定される取組

- ◇ 総合文化センターを中心とした賑わい創出
- ◇ 魅力ある公民館教室の実施
- ◇ 図書館の蔵書の充実、図書館システムの効率的な活用
- ◇ 図書館ボランティアの人材育成・拡充
- ◇ 町内文化施設の貸室稼働率向上

## ④文化財の調査・記録・保護・伝承意識の確立

- 文化財の調査・研究および、住民の理解と知識を深めるための活動を推進します。
- かけがえのない財産である文化財について、次世代への継承を行うための活動を推進します。
- 文化財の整備や維持管理について、住民や関係諸団体との連携により活動を促進します。

## 教育委員会

## 想定される取組

- ◇ 文化財の調査・研究の推進
- ◇ 文化財の次世代への継承の推進
- ◇ 各種団体等と連携した保全活動の強化

⑤歴史的遺産や文化財の魅力の共有と発信

- 歴史的遺産や文化財の適正な維持管理による保護・保全を行ったうえで、活用を展望した取組を検討します。
- 歴史的遺産や文化財の価値や調査成果の発表・啓発等、情報発信を推進します。
- 平群史蹟を守る会や平群町観光ボランティアガイドの会等関係諸団体との連携を行い、歴史的遺産や文化財を保存・利活用した取組を支援します。

教育委員会

想定される取組

- ◇ 調査成果等の発表会の開催
- ◇ 広報紙等を利用した魅力の発信
- ◇ 観光部門と連携した情報発信の強化

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 生涯学習、文化活動、スポーツ活動等の場や機会に参加しましょう。
- 地域の賑わいづくりに繋がるイベント等への協力・参加をするなど、地域の活性化に協力しましょう。
- 図書館や公民館などを積極的に利用しましょう。
- 歴史的遺産や文化財について理解や知識を深め、子や孫の世代に伝承しましょう。
- これまでの経験を活かし、文化活動やスポーツ活動等の指導者等になるように努めましょう。

関連計画

- ◇ 教育大綱
- ◇ 平群町子ども読書活動推進計画





## 環境負荷の少ない暮らしの推進

### 方針

- ごみやし尿・汚泥等の適正な処理を行うとともに、住民や民間事業者への啓発活動を推進し、衛生的で快適な環境づくりを目指します。
- 自然環境に配慮した行動の促進を行い、環境への負荷を軽減した快適で住みよいまちを目指します。

### 目標指標

指標名	現状値 (R4)	目標値 (R9)	実績値・目標値
家庭系可燃ごみの 1人1日あたりの排出量	(R3) 498g	→ 473g	グラフ挿入
ごみのリサイクル率	(R3) 18.8%	→ 27.0%	

### 現状と課題

- ごみ処理について、収集運搬体制の整備やごみ出し困難世帯へのごみ回収サービスの提供等、収集体制の充実に努めています。
- 集団回収団体への助成やごみ散乱防止ネットの配布、生ごみ処理機等設置補助金等の施策を通じて、住民・民間事業者に対してごみの減量化・資源化・適正処理についての啓発を進めています。
- し尿・汚泥の収集・運搬は民間業者への委託業務、処理は生駒市との行政連携により実施しており、現在安定的な処理を行っています。
- 斎場（火葬場）施設については、周辺環境と調和した運営を行っています。
- 持続可能な地球環境を形作るための取組が世界的に重視されており、リサイクルの推進や節電の普及・啓発、廃食油の油脂原料化などの取組を行っています。
- 二酸化炭素等の温室効果ガスの増加により地球温暖化問題が深刻化しているなかで、一人ひとりが環境に配慮した行動を意識することを求められています。
- 再生可能エネルギーの普及に向けた取組が全国的に進められており、住宅や事務所などにおける導入の促進が求められています。
- 食品ロス削減の推進に関する法律が施行されるなど、食品ロス削減が社会の大きな課題となっています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明

関連する SDGs



総合戦略 ④魅力的な地域

施策の展開方向

①ごみ減量対策

- 住民や民間事業者を対象に、5R（ファイブアール）の推進に向けた普及・啓発活動を行います。
- 住民・民間事業者・行政のそれぞれが循環型社会の形成に向け、相互に連携・協働してごみ減量とリサイクルを推進できる体制の整備に努めます。
- ゴミ分別の徹底および正しく分別するための仕組みづくりを推進します。
- ごみの適正な収集環境の整備やごみの減量化を促進する施策を引き続き実施します。
- 清掃センターにおいて経済的・安定的なごみ処理を行うため、機能の適切な維持及び機能転換を検討します。

住民生活課

想定される取組

- ◇ 5R（ファイブアール）の推進
- ◆ ごみの減量とリサイクルの推進【戦略④】
- ◇ ごみ散乱防止ネットの配布
- ◇ 生ごみ処理機等設置費用の補助及び生ごみ堆肥化の推進
- ◇ ごみ焼却灰の搬出と剪定枝堆肥化の実施
- ◇ リサイクルステーションの充実強化

②し尿・汚泥の処理対策

- し尿・汚泥の収集・運搬・処理等、安定的な処理を維持・継続します。

住民生活課/上下水道課

想定される取組

- ◇ 合併浄化槽設置補助金の普及促進
- ◇ 他市町との連携強化

③斎場の適正な運営

- 斎場（火葬場）施設を、周辺環境と調和した形で安定的に運営します。

住民生活課

想定される取組

- ◇ 利用者ニーズに合った運営

④持続可能な地域社会づくりの推進

- 地球温暖化防止実行計画に基づき、温室効果ガスの排出抑制に向けた取組の普及・啓発と実践を、住民・民間事業者・行政の連携により促進します。
- リサイクル製品の活用等、資源の再利用に向けた取組を住民・民間事業者・行政の連携により促進します。
- 食品ロスの削減に向けた取組を住民・民間事業者・行政の連携により促進します。
- 公共施設への再生可能エネルギーの導入に努めます。
- 住宅や事業所等に対する再生可能エネルギー導入に向けた普及啓発を推進します。

住民生活課

想定される取組

- ◇ 省エネ・省CO2の推進
- ◇ 食品ロス問題に対する啓発
- ◆ 脱炭素・エネルギーの地産地消【戦略④】
- ◇ 「平群町食品ロス削減推進計画」の推進
- ◇ フードドライブの実施
- ◆ 電気自動車充電ステーションの整備の検討【戦略④】
- ◇ 再生可能エネルギー等に対する国や県の施策について周知・啓発

⑤環境にやさしいライフスタイルの推進

- 地球環境に関する知識を学ぶことのできる環境教育を推進し、住民の環境意識の高揚に努めます。
- 環境に関するイベント開催や冊子配布等の普及・啓発活動への支援と実践を展開します。

住民生活課

想定される取組

- ◇小中学校と連携した環境教育の推進

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 資源の再利用やごみの分別、生ごみの堆肥化、減量化に努めましょう。
- 食品ロス削減と意識した行動に努めましょう。
- 公共交通機関の利用やリサイクル品を活用など、地球や環境に配慮した行動に努めましょう。
- 再生可能エネルギー導入に積極的に取り組みましょう。
- 二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に向け、一人ひとりが環境に配慮した行動に努めましょう。

関連計画

- ◇平群町一般廃棄物処理基本計画
- ◇平群町地球温暖化防止実行計画
- ◇平群町食品ロス削減推進計画





## 快適な生活を支える都市基盤の整備

## 方針

- 計画的な市街地と道路網の整備により、良好な住環境と利便性を兼ね備えた魅力的なまちを目指します。
- まちのシンボルでもある竜田川の魅力づくり、日常生活の中で楽しむことができる公園・緑地の維持管理に努め、身近に自然を感じるまちを目指します。
- 安全・安心な水の安定供給と下水道の整備により、清潔で快適に暮らせる生活環境の確立を目指します。

## 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
町道重点3路線整備率 (整備延長/総延長)	(R4) 6%	→ 30%	グラフ挿入
公共下水道普及率 (下水道区域内人口/ 総人口)	(R4) 60.7%	→ 62.8%	

## 現状と課題

- 丘陵地での大規模な住宅開発や、平地部での宅地開発等が進められたことにより、里山や田園の自然に包まれた良好な住環境を備えた市街地が形成されています。
- 平群駅西特定土地区画整理事業の完了により、平群駅周辺において、「総合文化センター」や駅前ロータリー等市街地が整備されました。
- 幹線道路として町道鳴川路線・川原路線・平群駅前線等の整備を行っていますが、整備計画の見直しが必要な箇所があります。
- 生活道路については、古くからある集落等の一部において狭隘な箇所等が見られます。
- 竜田川の魅力づくりとして、行政と住民の協働による協議会の活動を中心に、環境整備の取組の他、河川管理用道路の整備や観光案内板の設置、こいのぼり掲揚や桜ライトアップ等のイベント開催等の取組を推進しています。
- 平群中央公園や平群北公園といった大規模な公園を整備している他、地域に親しみのある街区公園の整備も実施されていますが、遊具等設備の老朽化が課題となっています。
- 住民の環境美化活動を支援する「山のぼっけ花いっぱいサポータークラブ制度」を実施しており、現在10団体が公共スペースの美化活動を行っていますが、高齢化等により今後の活動継続が課題となっています。
- 下水道事業について水洗化率の向上が課題となっており、利子補給制度や合併浄化槽の補助制度を設け、向上に向けて取り組んでいます。
- 水道事業について、2017(平成29)年10月より浄水場を廃止し、県水100%へ転換しています。
- 水道事業について、2024(令和6)年度設立予定の(仮称)奈良県広域水道企業団による事業統合に向けた調整を実施しています。

関連する SDGs



総合戦略 ④魅力的な地域

施策の展開方向

①計画的な土地利用と市街地整備の推進

- 都市計画マスタープラン等において、平群町の都市の骨格の将来像を明確に示し、計画的な土地利用の誘導を推進します。
- 開発等が行われる際には、周辺環境に配慮した土地利用となるよう指導等に努めます。
- 各種法制度を適切に運用し、良好な住環境との調和のとれた市街地形成を図ります。
- 整備が完了した平群駅前広場について、商工会などと連携をして、更なるにぎわい創出に取り組みます。
- 低未利用地の活用を含めた土地利用の活性化を図ります。

都市建設課／観光産業課

想定される取組

- ◇ 計画的な土地利用の誘導の推進
- ◇ 地籍調査の再開促進
- ◇ 平群町駅前広場等の賑わい創出
- ◆ インフラに係る手続きの効率化・3次元データの活用【戦略④】

②幹線道路および生活道路の整備・管理

- 幹線道路網について、利便性を高める整備を計画的に行います。
- 「平群町橋梁長寿命化修繕計画」「平群町トンネル長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋およびトンネルの計画的な点検や維持補修を行います。
- 都市計画道路平群西線について、社会情勢の変化と照らし合わせ、必要性等を検証した上で、計画的な整備を検討します。
- 主要町道や生活道路の適切で計画的な整備と改良を行うとともに、誰もが安全に通行できる環境の確保を図ります。
- バリアフリーの視点に立った道路整備の検討と改良に向けた取組に努めます。
- 東西方向の広域幹線道路機能を担う（仮称）東西線の事業化実現に向け、引き続き奈良県への整備要請等に取り組みます。

都市建設課

想定される取組

- ◇ 道路橋およびトンネルの計画的な点検・維持補修
- ◇ 生活道路の適切な整備と改良、環境保全
- ◆ 道路台帳等のデジタル化【戦略④】
- ◇ 計画的なバリアフリー化の推進

③竜田川の魅力づくりの推進

- 竜田川における水質汚濁防止対策を推進します。
- 河川管理用道路の整備や観光案内板の設置等、河川沿いの歩行空間の魅力づくりに取り組みます。
- 「竜田川まほろば遊歩道整備構想」に基づき、植栽や緑地の維持管理活動、河川を活用したイベントの開催等、住民協働による竜田川の魅力づくりを推進します。

都市建設課/住民生活課

想定される取組

- ◇ 竜田川クリーンキャンペーンの実施
- ◇ 竜田川まほろば遊歩道推進の会との協働による竜田川の魅力づくり

④公園・緑地の適正な維持管理と活用

- 公園の防災機能の強化を推進します。
- 公園の遊具等設備について、適切な修繕や改修を行います。
- 住民のニーズを反映した環境づくりを行い、公園の利用を推進します。
- 普及・啓発活動やアドプト制度の導入等、住民協働による公園緑地の維持管理活動を促進します。

都市建設課

想定される取組

- ◇ 公園防災機能の強化
- ◇ 公園設備等の計画的な改修

⑤安定した給水体制の確立【令和6年度まで】

- 安全な水の安定した供給および有収率の向上を図ります。
- 上水道施設の老朽化の実態把握に努め、整備や更新を適切に実施します。
- (仮称) 奈良県広域水道企業団への事業統合について、スムーズな移行に努めます。

上下水道課

想定される取組

- ◇ 県域水道一体化に向けた関係市町村等との調整

⑥下水道の整備および汚水処理人口普及率の向上

- 公共用水域の水質保全や快適な生活環境を保つため、適切な下水道整備を推進し、公共下水道の整備率の向上を図ります。
- 公共下水道切替宅内配管工事に対し、利子補給制度などの支援を継続します。
- 公共下水道に限らない汚水処理対策も検討します。
- 水の大切さと有効活用に関する知識や方法についての情報提供を行います。

上下水道課

想定される取組

- ◇ 下水道整備の推進
- ◇ 下水道整備計画の改定
- ◇ 公共下水道整備の支援継続
- ◇ 下水道使用料の改定

町民・地域団体・民間事業者に期待する役割

- 自然環境や景観を考慮した土地利用を行いましょう。
- 道路や河川、公園の清掃や除草などの活動に参加しましよう。
- 水の大切さを理解し、日頃から節水を心がけましよう。

関連計画

- ◇ 平群町都市計画マスタープラン
- ◇ 平群町トンネル長寿命化修繕計画
- ◇ 平群町橋梁長寿命化修繕計画
- ◇ 大和川流域整備計画
- ◇ 竜田川まほろば遊歩道整備構想
- ◇ 平群町流域関連公共下水道全体計画



## 住民協働による共に支えあう地域づくり

### 方針

- 住民の自主的な地域コミュニティ活動を支援し、住民が共に支え合う地域づくりを推進します。
- まちづくり等に対して意欲のある人が活躍できる場や機会の創出に努めます。

### 目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
自治会加入率 (加入世帯数/総世帯数)	(R3) 86%	→ 現状維持	グラフ挿入
住民協働による地域づくりに対して満足している住民の割合	40.3%	→ 上昇	

### 現状と課題

- 自治会活動や地域の社会貢献活動等に取り組む住民が約 40%、地域の活動に意欲を持つ住民が 65%を占めています。
- 全国的に、自治会未加入世帯の増加と自治会会員の高齢化が見られ、平群町においても同様の傾向となっています。
- 今後高齢化の進展に伴い、買い物や病院等日常生活の移動に困難を抱える住民等が増加し、地域社会において新たな生活課題が発生する可能性が高まっており、地域コミュニティの重要性が高まっています。
- 委員の一般公募、住民説明会、パブリックコメント等、住民の意見を町政に反映する制度や機会の充実に取り組むとともに、ボランティア一覧を町ホームページで公開するなど、情報提供を行っています。

写真挿入

写真の説明

写真挿入

写真の説明



関連する SDGs



総合戦略

④魅力的な地域

施策の展開方向

①地域コミュニティ活動の推進

- 地域コミュニティが地域課題を解決する取組を支援します。
- 自治会活動への支援を通じ、自治会活動や地域活動等に対する意識の向上や、活動へ参加するきっかけづくりに努めます。
- 町内の公共施設などを活用したコミュニティの拠点づくりや、活動の醸成を図ります。
- 地域コミュニティの核となる自治会の活動を支援し、その連合体である自治連合会との関係を保持することに努めます。

政策推進課

想定される取組

- ◇地域コミュニティ活動の活性化
- ◇地域コミュニティの拠点づくり
- ◇地域コミュニティ団体等の情報共有、参加機会の創出

②住民参加の仕組みづくりの推進

- 各施策における住民参加機会の拡充を図り、住民の意見や提案を尊重した施策を推進します。
- 技術や能力を有する平群町在住・在勤者を掘り起こし、まちづくりに参画できる仕組みづくりを検討します。
- 住民が主体となって地域を盛り上げる取組に対し、積極的に情報発信を行うなどの支援を推進します。
- パブリックコメントや各種懇談会の実施の他、多角的な住民意見を町政へと反映する機会の創出を検討します。

政策推進課

想定される取組

- ◇住民のまちづくり参加の活性化
- ◆町政への住民意見の取り入れ方法の多角化【戦略④】

③まちづくりを支える担い手づくりの推進

- 住民同士の出会いと交流を促進する機会を創出し、それぞれが連携してまちづくりに取り組むことができるよう、環境整備を推進します。
- ボランティア等の地域活動を支援するとともに、まちづくりに対して意欲を持つ人材の社会参画の機会づくりの創出に努めます。
- 高齢者が豊富な知識や経験を活かした社会参加を促進する取組を推進します。

政策推進課/福祉ことも課

想定される取組

- ◆まちづくりに取り組む人材の交流機会の創出
- ◆高齢者に対する活躍の場と機会の提供【戦略④】

町民・民間事業者・地域団体に期待する役割

- 近隣とのつながりを大切にし、自治会活動をはじめとした地域活動へ参加しましょう。
- アンケートやパブリックコメント等の機会では、積極的に意見・要望を述べるとともに、行政と積極的にコミュニケーションをとりましょう。

5-2

持続可能なまち  
を目指す施策

健全で効率的かつ柔軟で機動的な行財政運営

方針

- 「平群町緊急財政健全化計画」に基づく安定した財政基盤と業務の効率化や職員の資質向上による効率的な組織の確立を目指します。
- 民間や他市町村との連携により、効果的な行政サービスの提供や公共施設の適切な管理運営を目指します。
- 環境・経済・社会分野などの広範な課題を包括的に解決に導くため、国連で採択された SDGs の理念・考え方を取り入れ、誰一人取り残すことのない、持続可能なまちづくりを目指します。
- 国や県の動向を踏まえた行政手続き等のデジタル化を推進し、住民の利便性向上と業務の効率化を目指します。

目標指標

指標名	現状値	目標値 (R9)	実績値・目標値
将来負担比率	(R3) 183.3%	(R7) 140%	グラフ挿入
オンライン化している行政手続きの数 (累計)	(R3) 10 件	30 件	
マイナンバーカードの交付率 (交付人口/総人口)	(R4) 54%	全国 平均以上	

現状と課題

- 町の財政は、基本構想に記載したとおり、近年非常に厳しい財政運営を余儀なくされています。県からの「重症警報」の改善に対応する財政運営が必要です。
- 団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）となる「2025 年問題」の発生により、社会保障費の増加が予想されます。
- 職員の資質向上や民間企業、市町村との連携による効率的な行政運営を行うことが求められています。
- 現在、周辺市町村と環境問題をはじめとした広域的課題への取組や公共施設の相互利用を実施しています。
- 災害発生時等、緊急時への対応体制の構築について、防災協定の締結等他市町村や民間などと連携した取組を行っています。
- よりよい未来をこれからの世代に引き継いでいけるよう、私たち一人ひとりが SDGs の理念である「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に貢献することが求められています。
- 国は、自治体において SDGs を活用することで、客観的に自己分析することができ、特に注力すべき政策課題の明確化や、「経済・社会・環境」の三側面の相互関連性の把握による政策の推進全体の最適化が実現するとしています。
- 国が定めた「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」によって、自治体における DX の推進体制を構築することが求められています。

関連する SDGs

全て

総合戦略

施策の展開方向

① 健全な財政運営の推進

政策推進課

- 県からの「重症警報」を踏まえた緊急的な財政健全化を推進し、安定した財政基盤の確立を目指します。
- ふるさと納税の魅力創出やクラウドファンディング等の新たな取組に努め、町収入の確保を図ります。
- 国費等の活用など、財源を有効活用した事業推進を行います。
- 納税方法の利便性の向上や迅速かつ適切な滞納処分の実施など収納対策を充実し、自主財源の安定的な確保に努めます。
- 新公会計システムを活用し、財政マネジメントを強化します。

想定される取組

- ◇ふるさと納税制度の活用
- ◇国費等を活用した事業推進
- ◇クラウドファンディングによる歴史文化資源の維持管理に向けた資金の調達

② 効率的な行政運営の推進

政策推進課

- 住民サービス水準向上と業務の効率化に向け、柔軟に効果的な施策展開を選択できる組織体制づくりを進めます。
- 民間事業者や地域団体等の活力を活かした外部委託や指定管理を含め、行政サービスの提供体制の検討を進めます。
- 将来にわたって不要と考えられる町有地などを売却し、公共施設の維持保全の財源を確保します。

想定される取組

- ◇事務の改善・効率化
- ◇民間企業や団体との新たな連携

③ 公共施設の適正配置と利活用の推進

政策推進課

- 住民の多様なニーズや利用目的にも柔軟に対応できるよう、公共施設の適正な管理運営に努めます。
- 公共施設の長寿命化により、維持補修にかかる費用の平準化に努め、費用の圧縮を図ります。
- 施設管理の手法について調査・研究し、効率的な管理運営、コスト削減に努めます。

想定される取組

- ◇公共施設の適正な管理運営

④ 広域連携の推進・強化

政策推進課／総務防災課

- 生駒市や生駒郡4町、西和広域7町などの隣接する近隣市町と、基本的な行政サービスや公共施設の相互利用等の拡充等に取り組みます。
- 防災協定の締結等、有事の際の課題対応のため、他市町村との連携を図ります。

想定される取組

- ◇広域連携によるサービス拡充
- ◇防災協定の締結

⑤ 職員の資質向上と人材育成

総務防災課

- 人事考課制度の導入や国や県等の各種職員研修への参加を充実させ、専門的知識や広い視野で諸問題に取り組める職員育成に努めます。
- 多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、プロジェクトチームを設けるなど、横のつながりを重視した柔軟な推進体制づくりに努めます。
- 働きやすい職場環境づくりに努め、組織力の向上を図ります。

想定される取組

- ◇人事考課制度の導入
- ◇職員の研修機会の充実

⑥SDGs やカーボンニュートラル等の社会潮流を踏まえた取組の推進

- 町職員の SDGs に対する理解を深め、各施策の取組に対し、関連付けられた SDGs の目標達成に努めます。
- SDGs 等について、子どもから高齢者まで誰もが理解できるような啓発活動の実施に努めます。
- カーボンニュートラルに関する取組に理解を深め、導入の検討を行います。

まち未来推進室/住民生活課

想定される取組

- ◇町職員への研修
- ◇広報やイベントによる住民への啓発

⑦行政手続きのデジタル化など国の流れに合わせた DX の推進

- 行政手続きのオンライン化により、住民生活の利便性向上を図ります。
- マイナンバーカードの普及を促進するとともに、手続きの簡素化などを可能にするシステムの導入を図ります。
- 業務の標準化や共通化等と併せ、デジタル技術を活用した業務の自動化や省力化を検討します。
- 行政文書の電子化等によるペーパーレス化を推進し、紙媒体の保存・廃棄コストの削減、情報の共有性や検索性の向上、業務効率の向上を図ります。
- デジタル化による利用者格差（デジタルデバイド）の解消に向けた取組を進めます。

政策推進課/総務防災課/住民生活課

想定される取組

- ◇自治体 DX 計画の策定と推進
- ◇技術の進化に応じた情報セキュリティの強化
- ◇マイナンバーカードの普及促進及び活用
- ◇高齢者層等に対するデジタルデバイドの解消に向けた支援
- ◆データ連携基盤の構築【戦略④】

町民・民間事業者・地域団体に期待する役割

- 町財政について理解を深める等、関心を持ちましょう。
- 自分たちが住む町のふるさと納税の認知度向上に努めましょう。
- SDGs および 17 のゴールについて理解を深め、持続可能な社会の実現に貢献する意識を育みましょう。
- 自治体 DX の取組について、理解を深めましょう。
- マイナンバーカードを取得しましょう。

関連計画

- ◇平群町緊急財政健全化計画
- ◇平群町人材育成基本計画
- ◇平群町公共施設等総合管理計画